

# 海外視察の廃止を

## 新議長に申し入れました

## 日本共産党福岡市議団

### 新しい議会の始めにあたって「議会改革」の積極的な推進に関する6つの申し入れ

議会や行政に対する市民の願いや要求が強まる今日、福岡市議会が福岡市民の代表として、市民の声を市政へ届けるとともに市政を厳しく監視するなど、その役割はますます高まっています。とりわけ「税金のムダづかいをやめること」や「情報を公開すること」は、市民が議会に強く望んでいるところであり、福岡市議会においても近年、一定の改善が図られてきたものの、ムダのない市民に開かれた市議会への改革をいっそう推進していくことは新しい市議会の重要かつ緊急の課題です。

したがって、わが党市議団は、新しい市議会のスタートにあたり、市民の期待に応えて、議会改革を積極的に推進する決意を改めて表明するとともに、新議長に対し、民主的かつ公正な議会運営に努められると同時に、下記の6点の議会改革の提案について速やかに実行されるよう、強く要請致します。

記

- 1、海外行政視察の制度(一人上限100万円)を一切廃止すること。
- 2、政務調査費の収支報告書に全ての領収書を添付するよう義務付けるとともに、市民に公開すること。
- 3、議会出席の費用弁償を廃止すること。
- 4、議会のインターネット放映は、本会議に続き、常任委員会と条例予算特別委員会、決算特別委員会も対象とすること。
- 5、常任委員会と条例予算特別委員会分科会、決算特別委員会分科会の会議録は、発言者名を記載するよう改善すること。
- 6、常任委員会の傍聴席を増やし、途中からの傍聴も可能とするとともに、請願の採決も傍聴できるよう改めること。

川口議長(左端)に申し入れる  
日本共産党市議団の6人



日本共産党市議団は臨時議会中の5月16日、新しく選出された川口浩議長(自民党)に対し、「新しい議会の始めにあたって『議会改革』の積極的な推進に関する6つの申し入れ」を提出しました(左欄に全文)。

議長は「各派代表者会議の議題として協議したい」と応じました。

## 議会構成決まる

5月15、16日に開かれた選挙後初めての臨時議会で議会構成が決まりました。日本共産党市議団の委員会配置は下記のとおりです。

### 日本共産党の委員会配置 (2007年度)

|                                  |                |
|----------------------------------|----------------|
| 議会運営委員会                          | 星野美恵子 (理事)     |
| 第1委員会<br>(総務、財政、教育、<br>こども、市民など) | 中山いくみ          |
| 第2委員会<br>(保健福祉、環境、地下鉄)           | ひえじま俊和         |
| 第3委員会<br>(港湾、経済振興、農水)            | 倉元達朗           |
| 第4委員会<br>(都市整備、建築、消防)            | 星野美恵子<br>熊谷敦子  |
| 第5委員会<br>(土木、水道、下水道)             | 宮本秀国<br>(副委員長) |